



月詠が触手華に
男
られ
る
っ
！

18
禁

頭あつ！

今度の新商品、
テスターが
足りんせーんっ！

手伝って
おくれやすーっ！

構いんせんよ？

しかし、新商品など、
わっちは
聞いておらんぞ？

キィイイ。

あちしが、個人的に
手に入れたモノで
ありんす

お許しを



カ

…
!?

貴様が月詠か

「吉原の華」

この色狂いの古い街、
護って咲く百華の長よ

我に侍る
新しき華の養分に
相応しい

如何に傷物の女と言えど、
私の名は
知っておろうな？

この国を統べる
徳川家が一人

徳川喜々である。

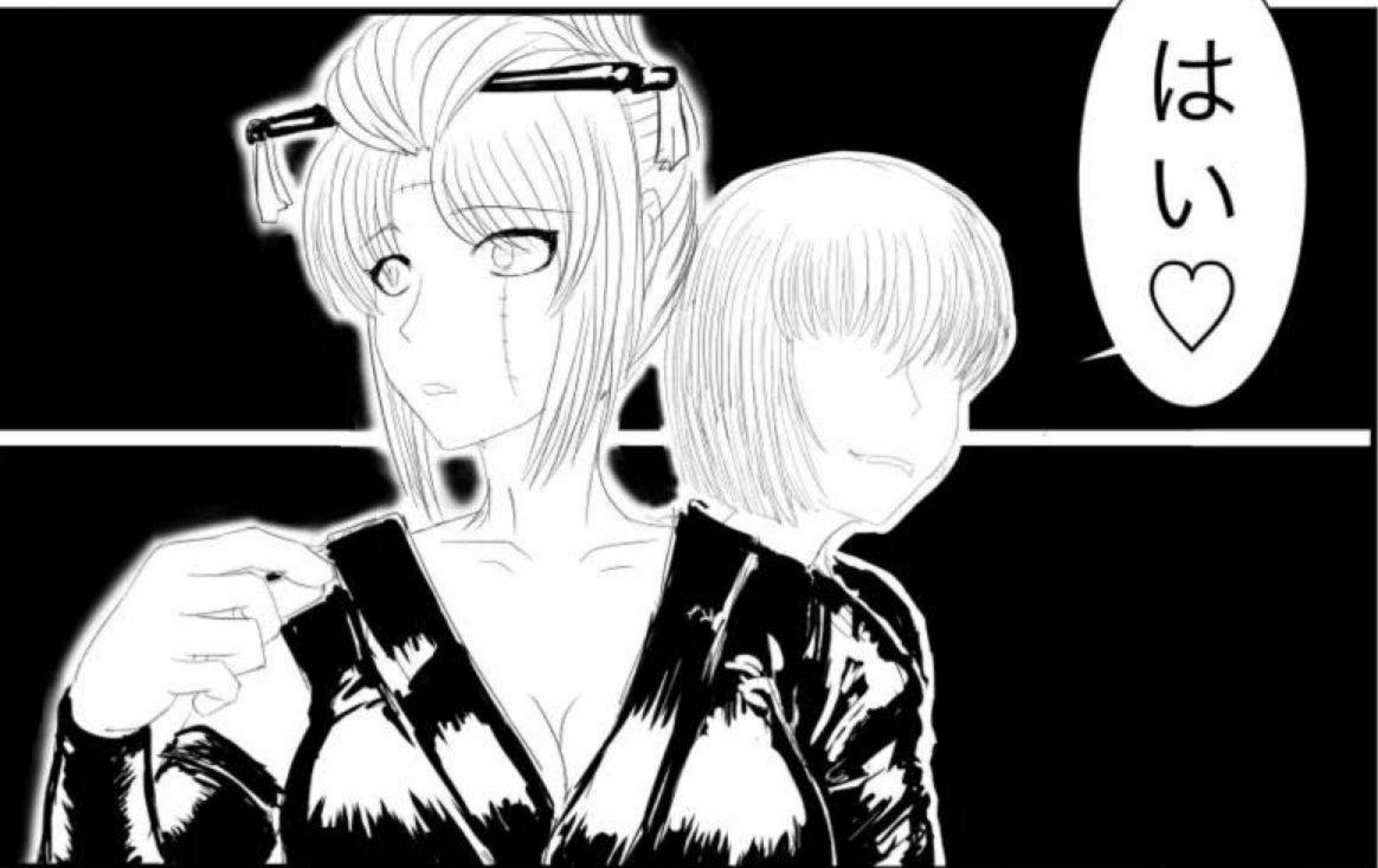
国を治める前に
地盤をと思つてな

この吉原は、
ただ今より
私のものとなる。

螢……！

へち

へち
へち
へち





な……っ



許しておくれやす頭

この取引のお陰で、
吉原は
安泰なのでござんすよ

な……
貴様っ……

ぎゅ
一体……っ
なにを……

いけばな
「插花」だ

この、
天人由来の珍品

吉原が私に下った
証として
これの苗床を求めた

これが育つには
他の生き物の愛液が
必要でああ

が、愛液を吸られた者は
その快楽に
虜となるそうだ

貴様……っ！

ぴったりであろう？

吉原の証として





天人のプラントーも
特別に計らった。

その悲哀と絶望、
存分に我が生け花の
養分とするがよい

ゴウッ

ゴウッ

ゴウッ





何って、頭あ♡

あん中にアンタを
漬け込みんす

ぐっちよぐちよに
犯されて
雌として躑けて
貰らいんしょう♪

大丈夫
わっちと同じで
ありんすよ♡







この香り……っ！

まさかっ!?



よく知っておろう？

なじみ深い
「愛染香」だ

もっとも、

小娘の代物より
数倍は濃厚だがね

それから
染み出しているのが、
香の「原液」なのでな



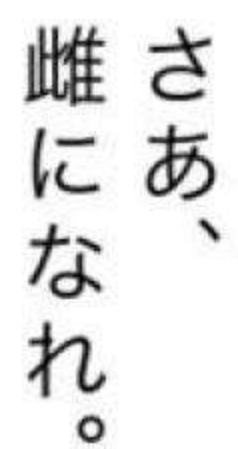
貴様っ!!

螢をどうしたんで
ありんすかっ!

些事を気にするより、
自分を心配せよ

どりり
ざん

ざん
ざん



香の、せいで……

痺れて……

は

12/1/2

やめなんしつ！

いま、今さわつ、
触るなあっ!!

9/2

$$m < h,$$

Wick

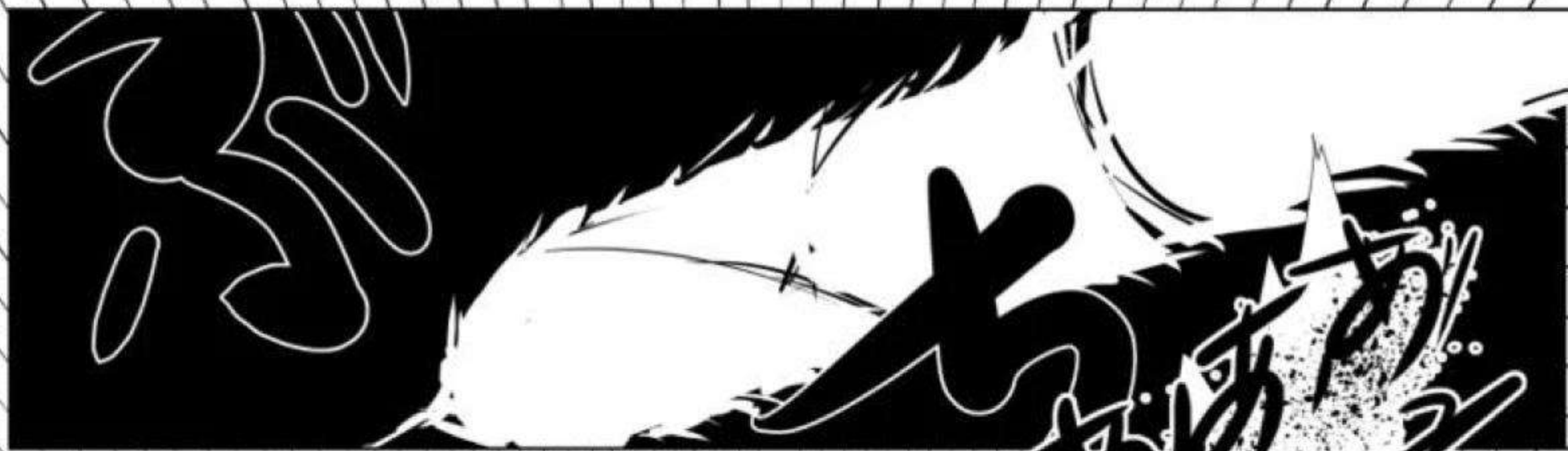
あ
ほ
ん

ひ
あ
あ

人

11/11/11





あ……

あ……

は——っ

は——っ

そんな……

こんな……化け、物にい……

ぱにた……っ

貴様あ……!!

良き表情だ

古き時代の遺物も
中々どうして
見物はあるものよ

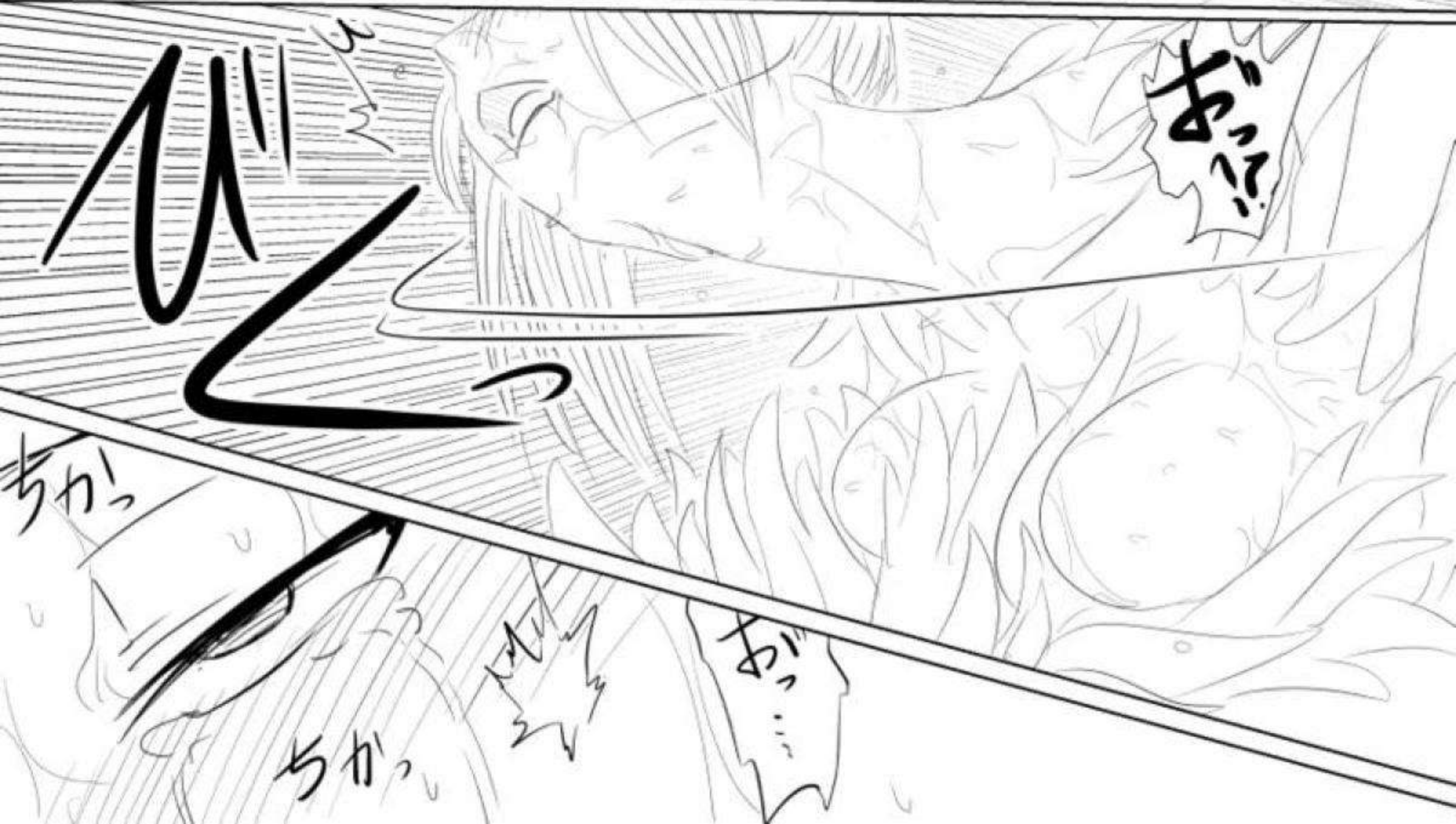
は——っ
は——っ

ひくんと
ひくんと
ひくんと









あゝあゝ

サ
ト

その
墜ちてゆく表情

誠に素晴らしい
地の底の華よ

か

ず
あん

か
は
か

ず

っ
。



我が横に侍る盆栽に
相応しい苗床よ

あゝあゝ

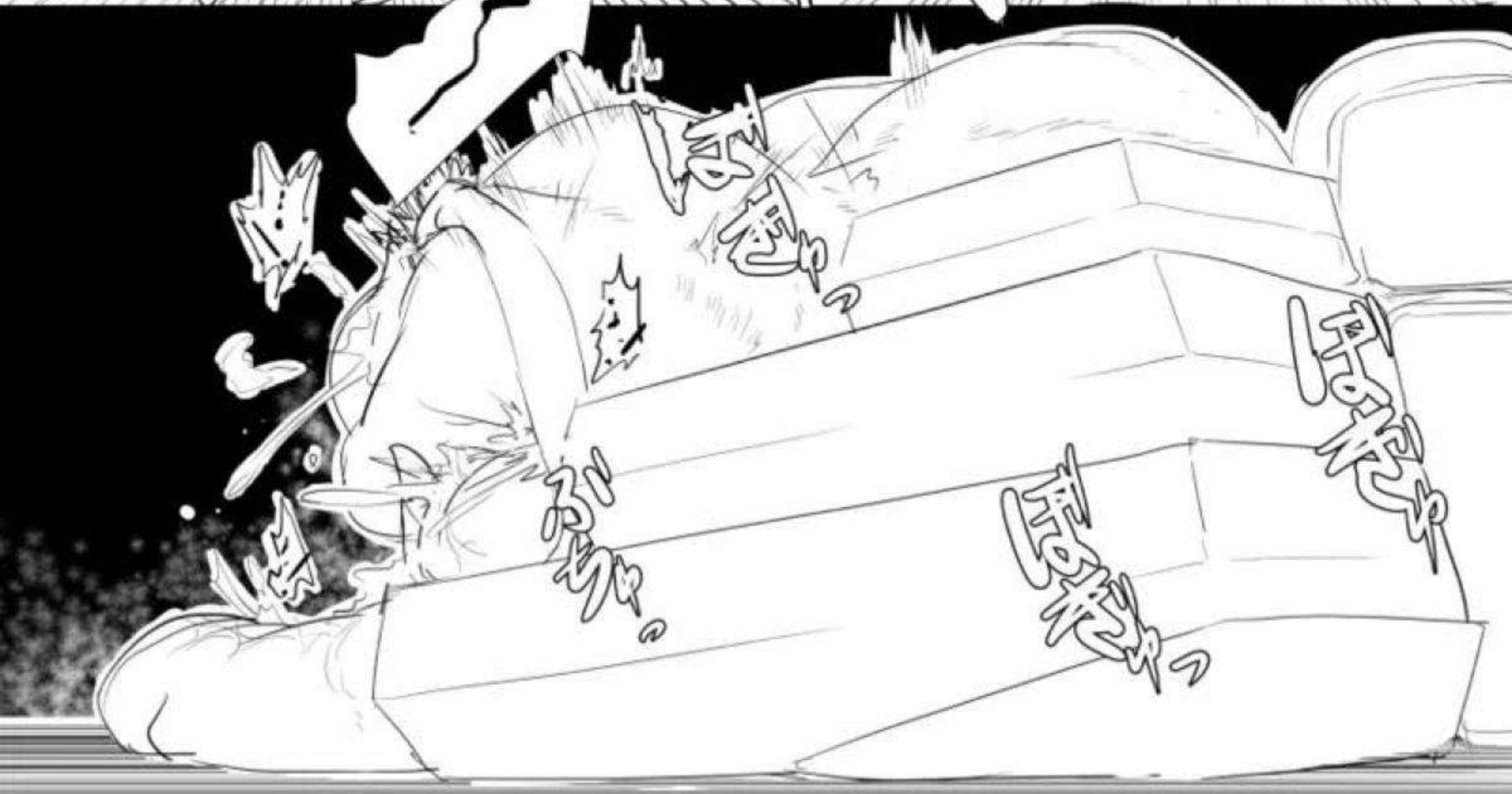
ガ
あ
る

ごぼ
ごぼ

ガ

うい
あ
ほお

素晴らしき種を
孕むが良い



か月肉壺
す詠かの
かに嬌中
聞声から
こがら
える

まるで料理の味を
楽しむ口内のように
肉壺は膨縮を繰り返した

雌をむき出しに
される媚薬を
擦り込まれながら、

同時に
苗床として身体を
改造される



654-100

Box 11-3

10/2/20

100

あああ

とちや

極太の産卵管に
子宮はこじ開けられ、
拡張され、

乳房は感度を上げ、
常に母乳が吹き出すように
調教された。

とす

愛染香の原液を
全身に擦り込まれ、

充滿する愛染香が
彼女の理性を蹂躪する

とちや

あーっ♡

チカッ

ハッ

チカッ

かっ
かっ
かっ

ゴッ

ハッ
ゴッ

ゆっさ
いっ
ハッ♡

ちっ

ゆっさ
あ♡
あ♡

朝も昼も関係なく
翔られ続け、

耐え続けていた
理性も限界だった

やあ
やも
や

かんっ

はっ

肉の苗床と
成り果てた
種付けの時
今付けると
今かわけと
待ちかねる
身体は

とっち

ん
おあ
びっち

びっち

そして遂に、

その時が
やってきた

お
びく

お
びく

びく

びく

びく



くぼるっ

ん

ぐぐっ

うそじやる!?

ん

ん

そんなっ

いたっ

はたっ

いつ、いま腔内に
そんな量
出されたら

ん



ん

ん

嫌じゃ、やめ、
あたまがぜったい
こわれでしまいんす!!

ん

ん

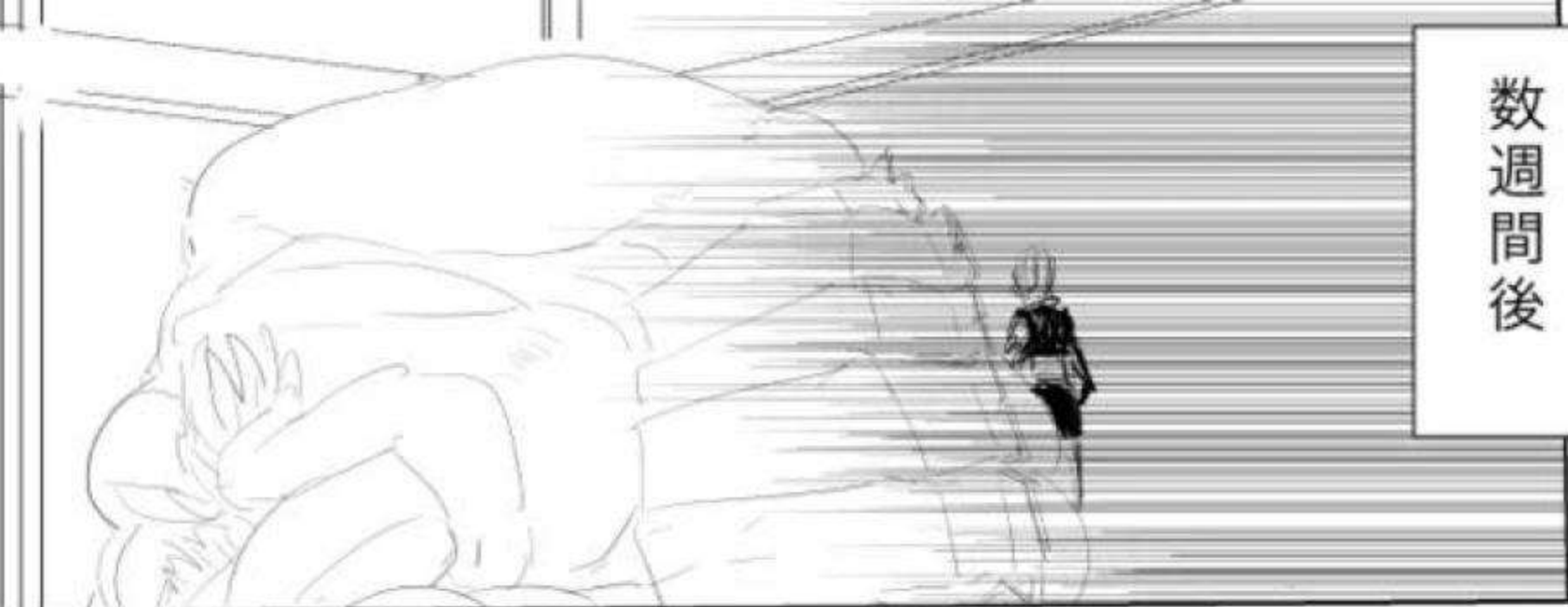
がくがくがく

ん





数週間後



黙り……んす

そん……な声、
聞こ、えん……せん

はー

とく……ん

はー

とく……ん

ほら頭^{かしら}あ♡

お腹の中の子種が、
「外に出たい」って
言ってござんしょう？

ひゃあ

あ

あ

あ

がく

がく

ぐん

あ

あ

そんな事言ってるとお、
こうでござんすよお♡





いやらしくて
みっともなく
膨らんだポテ腹で
ござんすなあ♡

ほれ、
ひり出なんし♡





はっ

っぎの…子種？

はっ

はっ

はっ

駄目…じゃ、

こんなの、あたま、
まっしろに…

はっ

はっ

はっ

こん、な…良いの、されたら、
わっち…っ、

こわれて、しまい、んすう♡

はっ

はっ

はっ

はっ

・あとかき

本作品をご覧頂きありがとうございます。
月詠の廻られるシリーズ二作目、
いかがでしたでしょうか？

触手に丸呑みにされて、媚薬を擦り込まれ、
嫌なのに身体は悦んじゃう、という
妄想は結構初期から抱いていました。

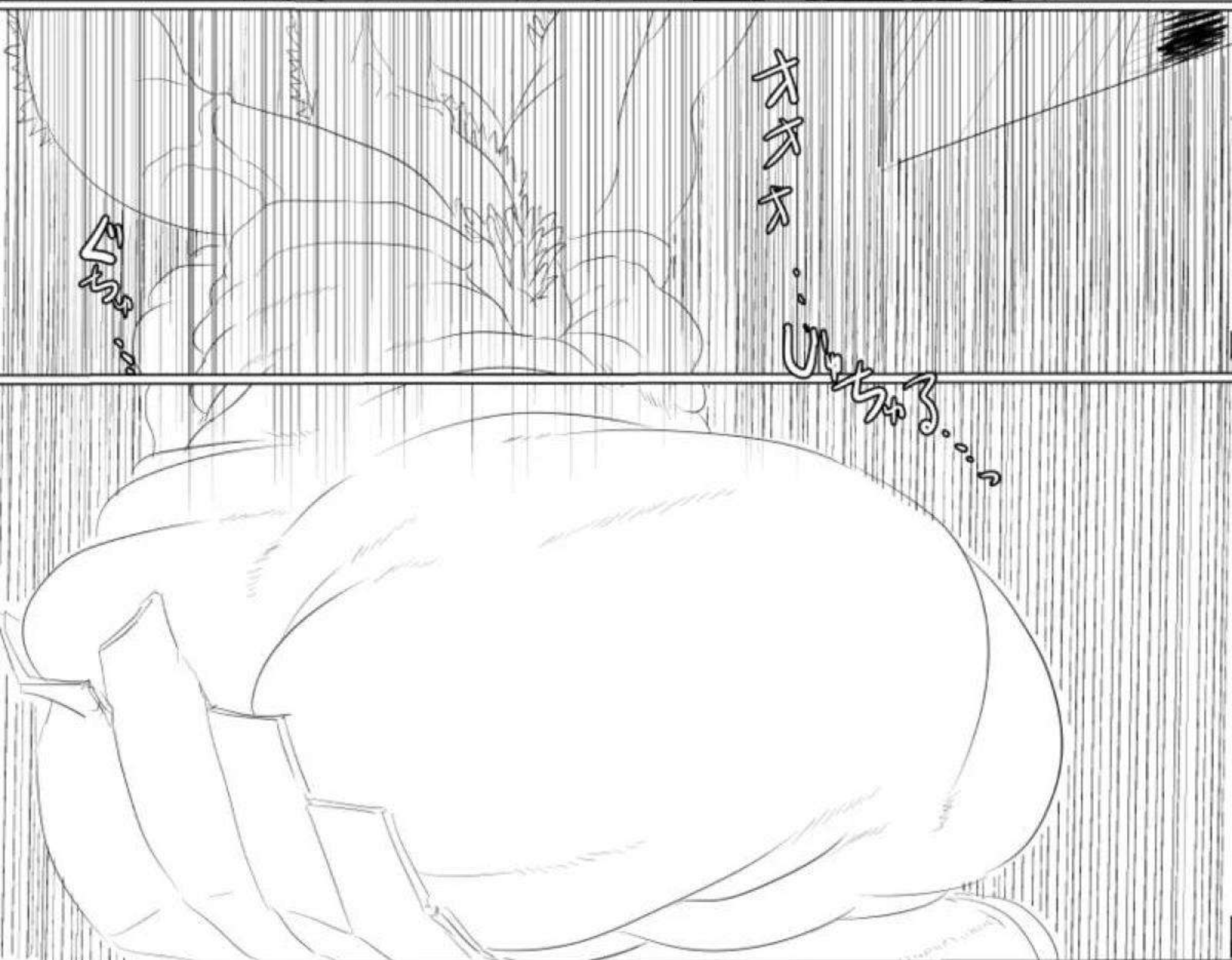
自警団・百華は原作から結構危うい印象が
あったので、月詠のバットエンドに
組み込んでみました。

次回作の予定はなにも考えていませんが、
よろしければ、またごらんください。

ではまたどこかで。

良き苗木が
育まれそうだ

やはり、あれらを
苗床にしたのは
正解だったか





。

。

あつ来たあ♡
陣痛……っ

お頭、と、
お揃い♡

ねっねえ
月詠ちゃん……！

お腹の、なか、
何匹、目……？

今日、3体目、
……じゃっ♡

あは♡
勝つ、たあ……
あたし、4匹目え……

っは♡あっ♡

ふ、二人とも
凄いでありんす♡

。

・奥付

本作品をご覧頂きありがとうございます。
当バージョンは練習用に創られた状態です。
有料配布・配信はしておりません。

なお、有料配布の予定は現在ありません。

有料化にあたっては別途アナウンスされます。

本作品はPixivにて無料公開されております。

本書は成人向けです。

未成年者の閲覧を禁止します。

以前公開した6児のママ月詠。
本編がアレなので一休みに。

専規
坂田月詠
2xオ



サークル: づえいんぱーそん

作者: GIO

HP: Pixiv

おまけ

数ヶ月後に回収された月詠は、
生きた触手華の容器として
変態に身請けされましたとさ

あゝ



ぽこっ

ぽこっ♡

動いちゃう♡

サークル: うえいんぱーそん

